

京都大学 1971年 入学試験 理系数学 問題1

問題

座標平面において、 x, y がともに整数であるような点 (x, y) を格子点とよぶことにする。この平面上で

1. 辺の長さが1で、辺が座標軸に平行な正方形(周をこめる)は少なくとも1つの格子点を含むことを証明せよ。
2. 辺の長さが $\sqrt{2}$ の正方形(周をこめる)は、どんな位置にあっても、少なくとも1つの格子点を含むことを証明せよ。

解答

1.

辺の長さが1で座標軸に平行な正方形 A は4つの頂点の内最も (x, y) の小さい頂点の座標を (a, b) とすると、辺を含む正方形の範囲は

$$A: \begin{cases} a \leq x \leq a+1 \\ b \leq y \leq b+1 \end{cases}$$

a が整数のとき

b が整数ならば、点 (a, b) が格子点となるため、辺上に格子点が存在する

b が整数でないと仮定すると $b+1$ を越えない最大の整数を $[b+1]$ とすると

$$[b+1] < b+1$$

このとき、 $b \leq [b+1]$ となると、点 $(a, [b+1])$ がこの範囲に含まれるので格子点が辺上に存在する。

$$[b+1] < b \text{ と仮定すると}$$

$$\text{両辺に } 1 \text{ をたすと } [b+1] + 1 < b+1$$

$[b+1] + 1$ は整数の加算なので、整数。

また、 $[b+1] + 1 \neq [b+1]$ より

$[b+1]$ が $b+1$ を越えない最大の整数であることに反する。

したがって、 $[b+1] < b$ は成立しない。

よって格子点が辺上に存在する。

次に a が整数でないとき

b が整数のときは上記の a, b を入れ換えた議論と同じなので格子点は辺上に存在する。

b が整数でないとき

上記の後半と同様に $[a+1]$ を $a+1$ を越えない最大の整数とすると

$$a < [a+1] < a+1 \text{ となる。}$$

また同様に $[b+1]$ を $b+1$ を越えない最大の整数とすると

$$b < [b+1] < b+1 \text{ となる。}$$

このとき点 $([a+1], [b+1])$ は x, y 共に整数でかつ A の範囲に含まれるので格子点が内部に存在する。

以上より、少なくとも一つの格子点が、内部または辺上に存在する。

2.

辺の長さが $\sqrt{2}$ の正方形には半径 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ の円が内接する。

半径 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ の円には辺の長さ1の正方形が内接し自由に回転することができる。

したがって、この正方形は辺が座標軸に平行なものが含まれ、(1) よりその内部には格子点が含まれる。
よって、辺の長さが $\sqrt{2}$ の任意の正方形には格子点が少なくとも一つ含まれる。
(Suggested by amase)

証明終了